

**【ニュースリリース】****住宅における良好な温熱環境の実現を目指し  
新たな研究委員会を設置**

一般財団法人ベターリビング(理事長：井上俊之)では6月27日、第1回「住宅における良好な温熱環境実現研究委員会」(委員長：村上周三 一般財団法人建築環境・省エネルギー機構 理事長)を開催しました。

本研究委員会は、平成28年度からの2カ年にわたり、住宅における良好な温熱環境の実現のため、住宅全体の高断熱・高气密化や、冬場の室温が低く健康への影響が大きいと考えられる浴室、脱衣室、トイレ等の水回り空間の対応策等の検討を行います。検討した対応策等を量的に意味のあるレベルで普及していくことにより、例えば冬場に多発する高齢者の入浴中の重大事故の減少等につなげていきたいと考えています。

**【研究の背景】**

我が国の住宅は、省エネルギー対策を目的として断熱・気密性能の強化が図られ、温熱環境が次第に整いつつあります。こうした取り組みにより、多くの新築住宅は、良好な温熱環境を有していますが、さらなる向上に向けた取り組みが必要と考えられます。

また、多くの戸建、集合住宅等の既存住宅は、断熱・気密性能、暖房設備等が十分に満足できるレベルになく、良好な温熱環境を有していないものも多く見受けられます。特に、浴室、脱衣室、トイレ等の水回り空間については、断熱が不十分なうえに、暖房設備等も設置されていない等、温熱環境が劣悪なケースが多く、例えば冬場の高齢者の入浴時に溺死する等の重大事故の一つの原因になっていると考えられます。(さらに、平成28年3月に閣議決定された「住生活基本計画(全国計画)」においても、基本的な施策の中で、住宅のヒートショック対策の推進等が掲げられています。)

超高齢社会を迎えて、高齢者をはじめとする居住者が、自立して、健康でいきいきとした暮らしができるようにするためにも、住宅における良好な温熱環境の実現が益々重要になります。

**【研究体制及び進め方】**

本研究は、住宅関連団体、エネルギー関連団体等の協力を得て、研究委員会、並びに本委員会のもとに「温熱環境研究部会」(部会長：伊香賀 俊治 慶應義塾大学 理工学部システムデザイン工学科 主任教授)及び「構工法・設備評価部会」(部会長：岩前 篤 近畿大学 建築学部長 教授)の2つの部会を設置し、研究を進めてまいります。

「温熱環境研究部会」では、健康影響があると考えられる住宅内の温熱環境に主眼を置き、既往の様々な調査研究やエビデンスを活用し、さらに有識者の見解、諸外国の状況、文献等も参考にして居住空間における温熱環境水準(温度等)を検討します。この検討結果に基づき、「構工法・設備評価部会」では居住空間の良好な温熱環境を実現させるための住宅の構工法、設備等による現実的かつ効果的な対応策等を検討します。

また、住宅産業全体の取り組みとして対応策の普及を図るとともに、一般生活者への理解促進のための周知を進めます。

こうした取り組みの結果により、例えば、近い将来に高齢者の入浴中の重大事故の減少等につなげていきたいと考えています。

## 【ニュースリリース】

### 住宅における良好な温熱環境実現研究委員会 委員名簿（順不同・敬称略）

委員長	村上周三	一般財団法人建築環境・省エネルギー機構 理事長
副委員長	深尾精一	首都大学東京 名誉教授 （一般財団法人ベターリビング サステナブル居住研究センター長）
委員	伊香賀俊治	慶應義塾大学 理工学部 システムデザイン工学科 主任教授 [温熱環境研究部会 部会長]
	岩前 篤	近畿大学 建築学部長 教授 [構工法・設備評価部会 部会長]
	秋元孝之	芝浦工業大学 工学部 建築工学科 教授
	苅尾七臣	自治医科大学 循環器内科 主任教授
	栗原 徹	独立行政法人都市再生機構 技術・コスト管理部 部長
	伊久哲夫	一般社団法人住宅生産団体連合会 住宅性能向上委員会 委員長
	野口尚史	一般社団法人日本ガス協会業務小委員会 委員長
	加藤浩嗣	一般社団法人日本ガス協会業務小委員会 副委員長
	常松 豪	一般社団法人日本建設業連合会 住宅委員会 副委員長
	鈴木康史	一般社団法人不動産協会環境委員会 委員長
	柴田正美	一般社団法人リビングアメニティ協会 バスルーム部会 部会長
	井上俊之	一般財団法人ベターリビング 理事長
オブザーバ	真鍋 純	国土交通省 住宅局 住宅生産課長
	佐藤守孝	厚生労働省 老健局 高齢者支援課長
	杉浦宏美	経済産業省 製造産業局 生活製品課 住宅産業室長

#### 【一般財団法人ベターリビング】

代表者：理事長 井上 俊之

所在地：〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-7-2 ステージビルディング

URL：<http://www.cbl.or.jp/>

事業内容：一般財団法人ベターリビングは、1973 年に設立以来、「優良な住宅部品（BL 部品）の認定」「住宅や部品・部材等の評価・試験」「品質・環境・情報セキュリティ・労働安全衛生マネジメントシステムの審査・登録」「国際交流」「住宅関連の調査・研究」「住宅関連の情報提供」に積極的に取り組んでいます。

#### 本件に関するお問合せ先

一般財団法人ベターリビング サステナブル居住研究センター 担当：村田、折田、甲野、橋本

TEL: 03-5211-0585 FAX: 03-5211-1056 mail: slc@cbl.or.jp